

2020年度 第1回 理事会懇談会 抄録

日時： 2020年7月5日（日） 11:20～12:30
場所： WEB会議
出席： 理事： 半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井
監事： 太田、長澤、辺土名
欠席者 理事： なし
監事： なし

I. 協議事項

(全3題)

| | |
|--|-----------|
| 1. 組織体制の変更について | (半田会長) |
| 組織体制の変更に関して、以下の項目について協議された。今後、組織運営協議会でさらに議論する予定である。 | |
| <ul style="list-style-type: none">・都道府県理学療法士会と本会の関係性の明確化・本会理事の在り方・安定的な組織運営 | |
| 【主な意見】 | |
| ・中央組織と地方組織の役割分担に関する説明をお願いしたい。 →会員に近いほうが地方組織であり、会員や住民サービスなどに取り組んでいくことに関する仕組みを検討するのが中央、それを展開するのが地方組織であると考え。 | |
| →臨時総会で議決を取る想定であれば、定款の変更案などを提示してほしい。 | |
| ・都道府県選出理事について、士会長以外を推薦することを良しとしていることについて、慎重な取り扱いが必要。 | |
| ・都道府県選出理事が47人であることに對し、学会理事の割り当てが1名というの少ないのではないかと。 | |
| 2. 新たな生活様式における組織運営と会員サービスについて | (大工谷専務理事) |
| 新たな生活様式における組織運営と会員サービスについて協議された。 | |
| 【主な意見】 | |
| ・オンデマンドでのサービス提供はよいと思う。追加費用が発生しないよう会員管理システムへの機能追加を今の段階で行うように検討してほしい。 | |
| ・会館建設時には想定していなかったが、新会館にスタジオを作るなど、発信基地の機能を持たせてはどうか。 | |
| ・協会理事が各士会理事会に参加するのは協会から見るとよいが、士会側はコントロールされるのではないかとという危惧を抱くかもしれない。 | |
| ・会員個々への配信ということが大事だと思うので、閲覧の際に追加料金を取られずに見られる本数などを設けてはどうか。また、PayPay払いなど会員のメリットを高めてほしい。 | |

- ・ 地方で行える業務執行もあるのではないかと。
- ・ Youtube チャンネルについて、訪問リハ財団担当として配信内容を内部だけで共有する際のリスク管理に悩むところがある。その手段を共有してほしい。
- ・ オンライン指導について賛成で、会員からの質問に答えるということがとても大事だが、相当の覚悟が必要と思う。コンサルなどの活用も検討してはどうか。
- ・ 事業収入が減ることが想定される。逆に取り組みにお金がかかるので試算をするようお願いしたい。

3. 本会の新たな学術機能について

(大工谷専務理事)

本会の新たな学術機能について協議された。

【主な意見】

- ・ 職能と学術の連動がこれから重要になるので、その点を記載してほしい。
- ・ 学会法人化の話があるなかで、協会の中にどのような機能を残すかという話が出ている。学術機能に関することについては学会の議題としてほしい。
- ・ 研究委託、寄付講座は協会でもよいが、それ以外は学会の事業とすべきではないか。
- ・ ブロック学会を協会事業とするのであれば組織化することが必要ではないか。
- ・ 分科学会が法人化するなかで高い学術を示すために理学療法学は現行の性質を堅持してほしい。臨床系を掲載するのであれば別の冊子を作るほうがよい。
- ・ 学会に望む定義が人によって異なるので、法人化するにあたり明確にしてほしい。

以上